

令和2年7月豪雨災害に被災された会員の皆様へ

令和2年7月20日

熊本県倫理法人会 会長

豪雨対策本部長 村上尊宣

この度の豪雨災害に被災された県南地区、県北東地区の倫友の皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。又、1日も早い復旧復興を衷心より祈念しております。

熊本県倫理法人会では、7月4日未明に発生した豪雨災害に対し、7月5日に人吉市、芦北町、水俣市の被災地に入り、現状の掌握とともに支援物資をお届けし、会友同志による泥出し作業などの人的ボランティア活動を展開いたしました。

倫理経営を学ぶ倫友の被災に心を痛み、被災者の皆さんに寄り添った支援活動をしたいと言う、倫理法人会会員の温かい真心の声の受け皿となるべく、7月6日災害対策本部を立ち上げ、まず、県内の単位倫理法人会に呼びかけ、今必要とされる支援物資と義援金の受け入れを表明し、県を挙げて復旧活動の支援を行なっております。

又、県内会友同士による物的、人的ボランティア活動も行われております。

さらに、全国の会友から、多くの温かい支援のメッセージを戴き、支援物資の受け入れ拠点を整備し、7月9日、熊本県倫理法人会公式オフィシャルに、支援物資と、義援金の受け入れを表明し、随時支援物資の受け入れと配送を行って参りました。

引き続き、熊本県倫理法人会一丸となり、被災地の皆様へ寄り添った支援活動に取り組み、手を携えてこの難局を乗り越えて参ります。

被災された会員さんの現状を把握すべく、単位倫理法人会会長、地区長にご尽力を頂き、熊本県倫理法人会として、詳細な報告書を作成し、一般社団法人倫理研究所へ被災状況を報告しました。

早速、お見舞い文を戴きましたので、熊本県倫理法人会会友の皆さんに展開させていただきます。

被災された会友の皆様と、支援活動に取り組まれている会友の皆様には、復旧活動に日々取り組まれておりますが、呉々も体調を崩されないようご自愛頂きますように願っております。引き続き、熊本県倫理法人会活動を通して、支援活動に取り組んで参ります。共にこの苦難を乗り越え、福門に変えて参りましょう。